

科目名	哲学特講		担当教員	小井沼 広嗣	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED3SPE403
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	<p>この授業は《徳倫理と現代》をテーマとします。目標は以下の3つです。</p> <p>(1) アリストテレスや現代倫理学における徳に関する議論を検討することを通じて、人間にとって徳とは何なのかについて理解を深める。</p> <p>(2) 現代社会において徳がどのような意味で重要なのかについて理解を深める。</p> <p>(3) 授業内でのディスカッションや哲学対話を通じて、物事を多角的・批判的に検討する力や、ことからの本質を洞察する哲学的思考力を身に付ける。</p>				
授業の概要	<p>この授業では以下の3つのトピックに沿って徳倫理について学びます。(1) 徳倫理学の源流に位置するアリストテレスの倫理思想を学ぶ。(2) 現代の徳倫理学者たちの議論を検討する。(3) 徳が現代社会においてどのような意義をもつのかについて検討する。</p> <p>くわえて、哲学的な思考力を身に付けるための実践ワークとして、諸々の徳目(勇気、誠実さ、やさしさ等)のなかからテーマを選び、哲学対話の機会を設けます。</p> <p>この授業は哲学対話以外の回もすべて基本的には双方向型のかたちで進めていきます。したがって受講者には自分の考えや疑問を率直に表現するだけの主体性が求められます。</p>				

授業計画	
第1回	「イントロダクション」：義務論や功利主義の立場と対比しつつ、徳倫理学の立場の基本的特質を解説する。
第2回	「アリストテレスの倫理思想(1)」：アリストテレスの『ニコマコス倫理学』第一巻を読み、徳と幸福の結びつきについて検討する。
第3回	「アリストテレスの倫理思想(2)」：アリストテレスの『ニコマコス倫理学』第二巻を読み、徳と感情との関係、中庸の徳について検討する。
第4回	「アリストテレスの倫理思想(3)」：アリストテレスの『ニコマコス倫理学』第六巻を読み、思考の徳の諸類型、とりわけ実践理性としての思慮について検討する。
第5回	「古代末期・中世の徳倫理／徳倫理の衰退の歴史」：アリストテレスの倫理思想のまとめを行うと共に、古代末期や中世における徳倫理についても概観する。また、なぜ近代にいたって徳倫理が衰退したのか、という問題について検討する。
第6回	「現代の徳倫理(1)」：M. ストッカーの論文「現代倫理理論の統合失調症」を読み、徳倫理学の立場から向けられた義務論および功利主義への批判を検討する。
第7回	「現代の徳倫理(2)」：F. フットの論文「美德と悪徳」を読み、徳というテーマにおいて問題となる基本的な諸論点について検討する。
第8回	「現代の徳倫理(3)」：R. ハーストハウスの論文「規範的な徳倫理学」を読み、行為の道徳的な是非を問題にするさいに徳倫理がどのように役立つかについて検討する。
第9回	「現代の徳倫理(4)」：A. W. ミュラーの著作『徳は何の役に立つのか?』を読み、人間の社会生活において徳がどのような役割を担っているのかという問題について検討する。
第10回	「哲学対話(1)」：哲学対話をするさいの方法となる「本質観取」について説明する。そのうえで、諸々の徳目(勇気、誠実さ、やさしさ等)のなかから一つを選び、その本質について検討する。
第11回	「哲学対話(2)」：諸々の徳目のなかから一つを選び、その本質について検討する。
第12回	「徳と現代社会(1)」：『徳と政治』(菊地理夫ほか編著、晃洋書房、2019年)の「第7章 リベラリズムと徳」を読み、民主主義的な社会を維持する上で徳がどのような役割をもつのかという問題について検討する。
第13回	「徳と現代社会(2)」：『徳と政治』の「第8章 コミュニタリアニズムと徳」を読み、民主主義的な社会を維持する上で徳がどのような役割をもつのかという問題について検討する。
第14回	「徳と現代社会(3)」：『徳と政治』の「第12章 徳と教育」を読み、民主主義社会を担う市民(シティズン)を育てる上で学校教育に期待される役割について検討する。
第15回	「哲学対話(3)」：諸々の徳目のなかから一つを選び、その本質について検討する。

事前学修	2時間	毎回、授業テーマに関する文献を予習用資料として配布するので、それを丁寧に読み、自分なりの感想や疑問点、皆で検討したい論点などを書いた上で授業に臨んでください。また、哲学対話の回にさいしても事前課題を出すので、それを行った上で授業に臨んでください。
事後学修	2時間	予習用資料や授業内で配布したプリントをもとに復習を行ってください。
フィードバックの方法	提示してもらった疑問点や論点については授業内で応答します。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
上記以外の試験・平常点評価	100%	事前課題 (60%)、授業への貢献度 (40%) を総合して評価します
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	アリストテレス『ニコマコス倫理学』朴一功訳、京都大学学術出版会、2002年 加藤尚武・児玉聡 監訳『徳倫理学基本論文集』勁草書房、2015年 大庭健 編、古田哲也 監訳『現代倫理学基本論文集Ⅲ』勁草書房、2021年 菊地理夫・有賀誠・田上孝一 編著『徳と政治——徳倫理と政治哲学の接点』晃洋書房、2019年			